

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3025667号

(45) 発行日 平成8年(1996)6月21日

(24) 登録日 平成8年(1996)4月3日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

片内整理番号

P I

技術表示箇所

B 6 5 D 86/57

C

G 1 1 B 23/02

D

評価書の請求 未請求 請求項の数 9 F D (全 13 頁)

(21) 出願番号 実願平7-14020

(22) 出願日 平成7年(1995)12月8日

(73) 実用新案権者 596003720

陳 顯達

台湾桃園縣八德鄉榮興路33號

(72) 考案者 陳 顯達

台湾桃園縣八德鄉榮興路33號

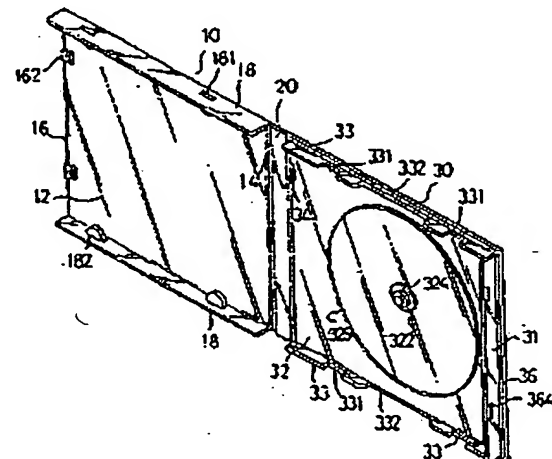
(74) 代理人 弁理士 清原 強博

(54) 【考案の名称】 CDケース

(57) 【要約】

【目的】 製造コストのダウンでき、複数枚CDを収納できるCDケースを提供する。

【構成】 CDのサイズより大きい四方形で一側に係止手段162を有する第一面版部12と、該第一面版部12の上下端縁より同方向に延出する上延出部18と下延出部18とを有する第1部材10と、前記第1面版部12と同様のサイズを有し、少なくとも前記上延出部18と下延出部18に該当する部位にスペースを保留した第2面版部32と、該第2面版部32の側縁より延出し、前記上延出部18と下延出部18の高さと同様な高さを有し、端縁部に前記第1面版12における係止手段162に係入できる係入手段364を有する側延出部36と、CDを保持するための保持手段とを有する第3部材30と、両側にそれぞれノッチ14、34を介して、前記第1部材10と第3部材30を連結する第2部材20とからなるCDケースであって、前記第1部材10と第2部材20と第3部材30とが一体成形で形成されたCDケースである。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 CDのサイズより大きい四方形で一侧に係止手段を有する第一面板部と、該第一面板部の上下端縁より同方向に延出する上延出部と下延出部とを有する第1部材と、前記第1面板部と同様のサイズを有し、少なくとも前記上延出部と下延出部に該当する部位にスペースを保留した第2面板部と、該第2面板部の側縁より延出し、前記上延出部と下延出部の高さと同様な高さを有し、端縁部に前記第1面板部における係止手段に係入できる係入手段を有する側延出部と、CDを保持するための保持手段とを有する第3部材と、両側にそれぞれノッチを介して、前記第1部材と第3部材を連結する第2部材とからなるCDケースであって、前記第1部材と第2部材と第3部材とが一体成形で形成されたことを特徴とするCDケース。

【請求項2】 前記第3部材における、CDを保持するための保持手段は、CDの中心孔より大きいベース部と、丁度CDの中心孔に嵌入することができる嵌入部とからなることを特徴とする請求項1記載のCDケース。

【請求項3】 前記第3部材に、CDの下面を支持するための支持部が形成されることを特徴とする請求項1又は2記載のCDケース。

【請求項4】 前記第1部材における係止手段は、凹穴と、該凹穴の外縁側より上方へ延出し、端部に突起部を有する係止部とを有すると共に、前記第3部材における係入手段は、前記係止手段の凹穴に係入できるヘッドと、前記係止手段の突起部を受け入れる凹部を有することを特徴とする請求項1記載のCDケース。

【請求項5】 CDのサイズより大きい方形面板部と、前記方形面板部の四辺の中の三辺より延出する兩平行延出部と一垂直延出部と、前記方形面板部に形成されるCDを保持するための保持手段と、後記の第3部材と結合することができる結合手段とを有し、前記兩平行延出部の前記垂直延出部に連なる縁部の反対側の縁部に切欠きが形成された第1部材と、前記第1部材と結合できるように構成された第3部材と、両側にノッチを介してそれぞれ前記第1部材と第3部材とを連結し、前記平行延出部の切欠きに係入できる突出部を有する第2部材とを包含すると共に、前記第1部材と第2部材と第3部材が一体的に形成されたことを特徴とするCDケース。

【請求項6】 前記第2部材における突出部は第2部材の全長に延伸する長方形突出部に形成されると共に、該長方形突出部に凹槽が形成されたことを特徴とする請求項5記載のCDケース。

【請求項7】 前記第1部材と第3部材にそれぞれCDの下面を支持するための支持手段が形成されたことを特徴とする請求項5記載のCDケース。

【請求項8】 CDのサイズより大きい方形面板部と、前記方形面板部の四辺の中の三辺より延出する兩平行延出部と一垂直延出部と、前記方形面板部に形成されるC

Dを保持するための保持手段と、後記の第3部材と結合することができる結合手段とを有し、前記兩平行延出部の前記垂直延出部に連なる縁部の反対側の縁部に切欠きが形成された第1部材と、前記第1部材と結合できるように構成された第3部材と、両側にノッチを介してそれぞれ前記第1部材と第3部材とを連結し、前記平行延出部の切欠きに係入できる形を有すると共に、係入手段を具備する長方形突出部を有する第2部材と、前記第2部材の長方形突出部における係入手段を受け入れることができる受入れ手段と、両面にそれぞれ前記第1部材と第3部材におけるCD保持手段と対応する保持手段を有する第4部材とを包含し、前記第1部材と第2部材と第3部材とが一体的に形成されると共に、第4部材は前記受入手段により前記第2部材の係入手段を受け入れることにより第2部材に結合されることを特徴とするCDケース。

【請求項9】 前記第1部材と第3部材にそれぞれCDの下面を支持するための支持手段が形成されたことを特徴とする請求項5記載のCDケース。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の第1実施例のCDケースの斜視図である。

【図2】本考案の第1実施例のCDケースの開けた状態の断面図である。

【図3】本考案の第1実施例のCDケースの閉合状態の断面図である。

【図4】本考案の第1実施例のCDケースの一部構成の拡大図である。

【図5】本考案の第2実施例のCDケースの斜視図である。

【図6】本考案の第2実施例のCDケースの開けた状態の断面図である。

【図7】本考案の第2実施例のCDケースの閉合状態の断面図である。

【図8】本考案の第3実施例のCDケースの斜視図である。

【図9】本考案の第3実施例のCDケースの開けた状態の断面図である。

【図10】本考案の第3実施例のCDケースの閉合状態の断面図である。

【図11】従来のCDケースの構成を示す斜視図である。

【符号の説明】

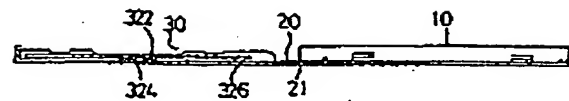
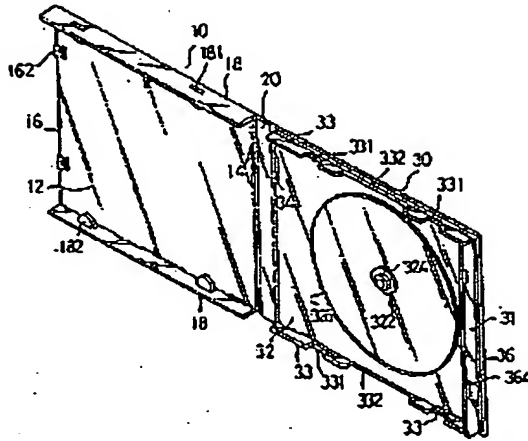
- | | |
|-----|--------|
| 10 | 第1部材 |
| 12 | 第1面板部 |
| 122 | ベース部 |
| 124 | 嵌入部 |
| 126 | 支持手段 |
| 14 | ノッチ |
| 16 | 左側の端縁部 |

161 垂直延出部
17 平行延出部
171 切欠き部
18 上下延出部
182 突起片
20 第2部材
22 長方形突出部
23 長槽
26 係入手段
30 第3部材
31 側延出部
32 第2面板部
322 ベース部
324 嵌入部

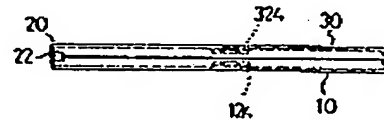
* 326 支持手段
33 上下延出部
331 開口
332 開口
34 ノッチ
36 間隔
364 係入手段
40 第4部材
42 保持手段
10 46 受入手段
A 凹穴
B 突起部
C ヘッド
* D 凹部

【図1】

【図2】

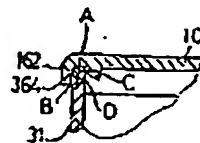
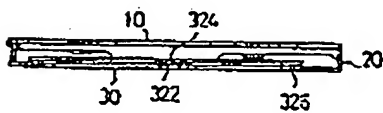


【図7】

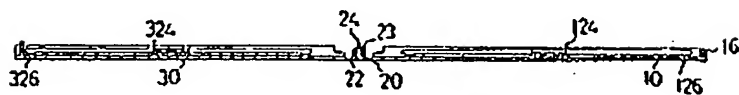


【図3】

【図4】



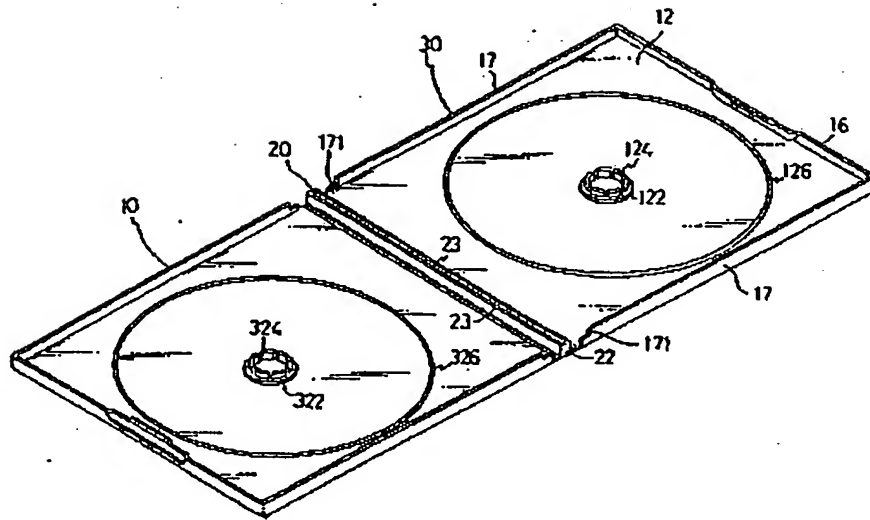
【図6】



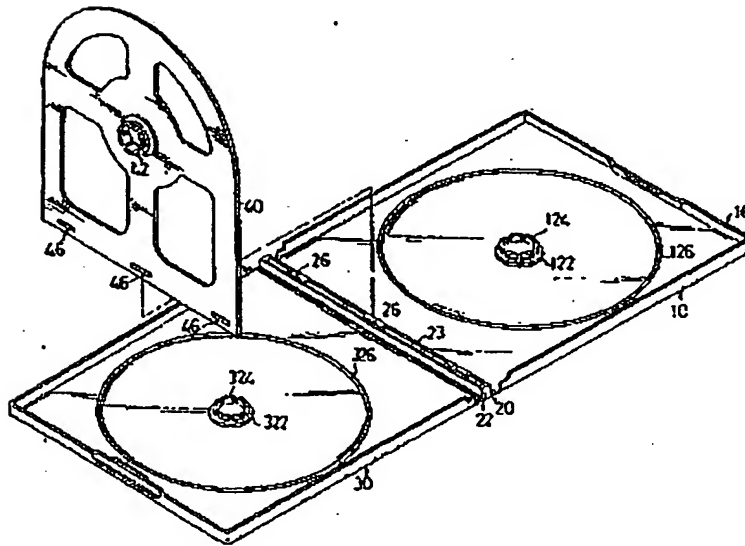
【図10】



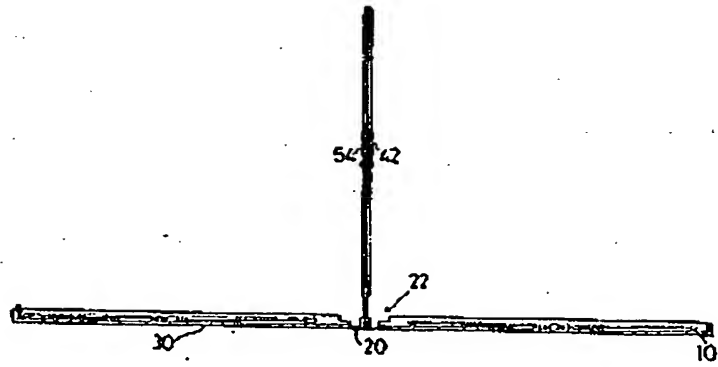
【図5】



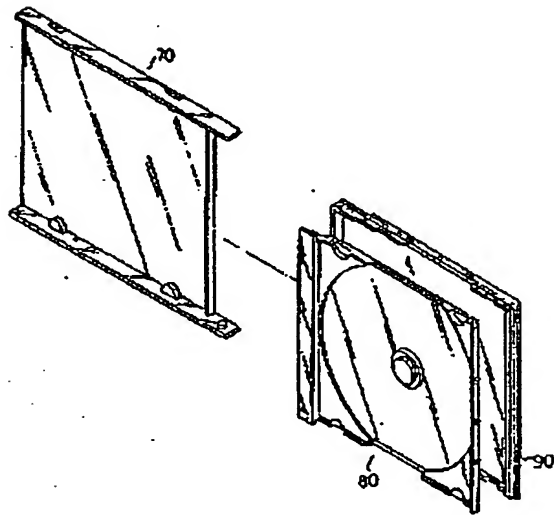
【図8】



【図9】



【図11】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、製造コストを低減し、複数枚のCDを収納できるCDケースに関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

従来のCDケースの構成は、図11に示すよう、カバー70と、CDを収納する収納体80と、前記収納体の底部に結合され、CDケースの他の一面のカバーを構成するベース体90とからなるものである。

【0003】**【考案が解決しようとする問題点】**

従来のCDケースは、前記のよう、三つの部材より構成されるため、別々の成型により製造しなければならないので、製造コストの増加につながると共に、該三つの部材を組み立てる手数も要するので、生産コストがかかり、好ましくない。また、前記のような従来のCDケースは、一個に一枚のCDしか収納できないので、利用性が悪い。

【0004】

本考案は上記の問題点を解決するためになされたものであり、生産コストが低減でき、複数枚のCDを収納できるCDケースを提供することをその目的とする。

【0005】**【問題点を解決するための手段】**

本考案の第1の考案は、CDのサイズより大きい四方形で一側に係止手段を有する第一面板部と、該第一面板部の上下端縁より同方向に延出する上延出部と下延出部とを有する第1部材と、前記第1面板と同様なサイズを有し、少なくとも前記上延出部と下延出部に該当する部位にスペースを保留した第2面板部と、該第2面板部の側縁より延出し、前記上延出部と下延出部の高さと同様な高さを有し、端縁部に前記第1面板における係止手段に係入できる係入手段を有する側延

出部と、CDを保持するための保持手段とを有する第3部材と、両側にそれぞれノッチを介して、前記第1部材と第3部材を連結する第2部材とからなるCDケースであって、前記第1部材と第2部材と第3部材とが一体成形で形成されたことを特徴とするCDケースである。

【0006】

また、前記第3部材における、CDを保持するための保持手段は、CDの中心孔より大きいベース部と、丁度CDの中心孔に嵌入することができる嵌入部とからなってもよい。

【0007】

また、前記第3部材に、CDの下面を支持するための支持部が形成されてもよい。

【0008】

また、前記第1部材における係止手段は、凹穴と、該凹穴の外縁側より上方へ延出し、端部に突起部を有する係止部とを有すると共に、前記第3部材における係入手段は、前記係止手段の凹穴に係入できるヘッドと、前記係止手段の突起部を受け入れる凹部を有するものであってもよい。

【0009】

本考案の第2の考案は、CDのサイズより大きい方形面板部と、前記方形面板部の四辺の中の三辺より延出する両平行延出部と一垂直延出部と、前記方形面板部に形成されるCDを保持するための保持手段と、後記の第3部材と結合することができる結合手段とを有し、前記両平行延出部の前記垂直延出部に連なる縁部の反対側の縁部に切欠きが形成された第1部材と、前記第1部材と結合できるように構成された第3部材と、両側にノッチを介してそれぞれ前記第1部材と第3部材とを連結し、前記平行延出部の切欠きに係入できる突出部を有する第2部材とを包含すると共に、前記第1部材と第2部材と第3部材が一体的に形成されたものである。

【0010】

また、前記第2部材における突出部は第2部材の全長に延伸する長方形突出部に形成されると共に、該長方形突出部に凹槽が形成されてもよい。

【0011】

本考案の第3の考案は、CDのサイズより大きい方形面板部と、前記方形面板部の四辺の中の三辺より延出する両平行延出部と一垂直延出部と、前記方形面板部に形成されるCDを保持するための保持手段と、後記の第3部材と結合することができる結合手段とを有し、前記両平行延出部の前記垂直延出部に連なる縁部の反対側の縁部に切欠きが形成された第1部材と、前記第1部材と結合できるように構成された第3部材と、両側にノッチを介してそれぞれ前記第1部材と第3部材とを連結し、前記平行延出部の切欠きに係入できる形を有すると共に、係入手段を具備する長方形突出部を有する第2部材と、前記第2部材の長方形突出部における係入手段を受け入れることができる受入れ手段と、両面にそれぞれ前記第1部材と第3部材におけるCD保持手段と対応する保持手段を有する第4部材とを包含し、前記第1部材と第2部材と第3部材とが一体的に形成されると共に第4部材は前記受入手段により前記第2部材の係入手段を受け入れることにより第2部材に結合されたものである。

【0012】

【作用】

本考案の上記の第1の考案によると、CDケースを構成する第1部材と第2部材と第3部材とが一体成形で形成されたことにより、製造には、一個の成形型を使用すればよいと共に、組合せの手数も不要であるので、コストを大幅に低減することができる。

【0013】

また、前記第3部材における、CDを保持するための保持手段は、CDの中心孔より大きいベース部と、丁度CDの中心孔に嵌入することができる嵌入部とからなることにより、嵌入部をCDの中心孔に嵌入することと、ベース部でCDの中心孔付近の下面を支持することにより、CDを穏やかにCDケースに載置できる。

【0014】

また、前記第3部材に、CDの下面を支持するための支持部が形成されることにより、CDをさらに穏やかにCDケースに支持することができる。

【0015】

また、前記第1部材における係止手段は、凹部と、該凹部の外縁側より上方へ延出し、端部に突起部を有する係止部とを有すると共に、前記第3部材における係入手段は、前記係止手段の凹部に係入できるヘッドと、前記係止手段の突起部を受け入れる凹部を有することにより、第3部材の縁部を第1部材の縁部に係合し、しっかりと結合することができる。

【0016】

本考案の上記の第2の考案によると、第1部材と第3部材の各辺に延出部が形成されると共に、前記延出部の端縁に形成された切欠きが、第1部材と第3部材との間における第2部材の突出部に係合するので、ケースの内部が前記各延出部と前記切欠き部と突出部との係合により、外界より隔絶されるので、浸水を防止できると共に、空気中の湿気でCDに黴が生えることも防止できる。

【0017】

また、前記第2部材における突出部は第2部材の全長に延伸する長方形突出部に形成されると共に、該長方形突出部に凹槽が形成されることにより、前記第2部材の全長に延伸する長方形突出部がCDケースの側端縁を補強できると共に、前記長方形突出部に凹槽を設けることにより、例えば、乾燥剤や明細書の縁部などを挟持することができる。

【0018】

また、本考案の第3の考案によると、第4部材の増設により、第4部材の両面と第1部材と第3部材とを合わせて、全部4枚のCDを収納できるので、CDケースの利用性を向上することができる。

【0019】

【実施例】

以下、図面に基づき本考案の好適な実施例を説明する。

【0020】

(第1実施例)

図1は、本考案の第1実施例のCDケースの斜視図であり、図2は、前記CDケースの開けた状態を示す断面図であり、図3は、前記CDケースの閉じる状

頭を示す断面図であり、図4は、CDケースの結合部の拡大図である。図中、10は第1部材、20は第2部材、30は第3部材を示す。

【0021】

前記第1部材10は、四方形に形成された第1面板部12と、該第1面板部12の上下縁より延出する上、下延出部18、18とからなるものである。前記第1面板部12の図中の左側の端縁部16に、係止手段162が形成されると共に前記上、下延出部18、18に孔181と、第1面板部12の表面よりやや離れた位置に形成され、前記第1面板部12の表面との間に隙間が形成される突起片182が形成されている。該隙間に印刷品などのものを入れることにより、該印刷品を前記隙間に保持することができる。

【0022】

図中の最右側の第3部材30は、前記第1部材10の第1面板部12と同じな面積を有する第2面板部32と、前記第1部材10の上下端縁における上下延出部18、18を避ける位置に形成される上下延出部33、33が形成される。該上下延出部33、33には、前記第1部材10の上下延出部18、18における突起片182に該当する位置に開口331が形成され、こうすると、第1部材10と第3部材30とを結合する時、第1部材10の突起片182が前記第3部材の開口331に入るので、結合の邪魔にならない。また、通気や美観のため、前記第3部材30の上下延出部33、33に、開口332のような構成を有してもよい。また、前記第3部材30の右側に間隔36をおいて側延出部31が形成され、該側延出部31には、前記第1部材10の第1面板部12の側端縁に形成された係止手段162に係入することができる係入手段364が形成されている。前記第1部材10の係止手段162と第3部材30の係入手段364の結合状態は図4に示される通りである。前記係止手段162は、凹穴Aと、該凹穴Aの外縁側より上方へ延出し、端部に突起部Bを有する係止部を有すると共に、前記第3部材30における係入手段364は、前記係止手段162の凹穴Aに係入できるヘッドCと、前記係止手段162の突起部Bを受け入れる凹部Dを有する。前記係入手段364のヘッドCを前記係止手段162の係止部の凹穴Aに係入すると共に、前記係入手段364の凹部Dに前記係止手段162の係止部の突起部

Bを受け入れることにより、第1部材10と第3部材30とをしっかりと結合することができる。

【0023】

また、前記第3部材30の第2面板部32に、CDを保持する保持手段としてベース部322と該ベース部の上面に形成された、CDの中心孔に嵌入できる嵌入部324とを有する。また、CDをもっと穏やかに支持するために、前記第2面板部32の上面に支持手段として該面板部の上面より突起する環状の支持部（突起）326が形成されている。該支持部326によりCDの下面を支持することができる。

【0024】

また、前記の第1部材10と第3部材30との間にそれぞれのノッチ14、34を介して第2部材20と連結する。該ノッチ14、34により第1部材10と第3部材30とを第2部材20に対し折り畳み可能にしている。また、前記第1部材10と第2部材20と第3部材30とは一体成形で製作されるので、組立の手数を要しなく、直接CDを収納するCDケースとして使用できる。

【0025】

（第2実施例）

図5に示すのは、本考案の第2実施例の斜視図であり、図6に示すのは、本考案の第2実施例のCDケースの展開断面図であり、図7に示すのは、本考案の第2実施例のCDケースの閉合状態の断面図である。

図中、該CDケースは前記の第1実施例と同じように、第1部材10と、第3部材30と、第1部材10と第3部材30とを連結する第2部材20とを包含する。この実施例において、カバーとしての第1部材10と第3部材30は、四辺中の三辺にそれぞれ二つの平行延出部17、17と一つの垂直延出部161が形成され、前記垂直延出部161に、カバーとしての第1部材10と第3部材30とを閉合する時に、両者を結合するための結合手段が設けられている。また、前記両平行延出部17、17の垂直延出部16に連なる縁部の反対側の縁部に切欠き171、171が形成されると共に、前記第2部材20に前記切欠き171、171に係止することができる長方形の突出部22が形成されている。本実施例

では、該長方形の突出部22に長槽23を形成してもよい。前記水平延出部17、17と垂直延出部16と、前記切欠き171と長方形突出部22との組合せで図7に示すよう、閉合すると、密封したCDケースを形成する。このような密封したCDケースによると、浸水の防止できるCDケースを提供できる。

【0026】

また、本実施例では、第1部材10と第3部材30に、それぞれベース部122と嵌入部124とからなる保持手段と、ベース部322と嵌入部324とからなる保持手段とが設けられている。これにより、それぞれの部材に各一枚のCDを収納できるので、一つのCDケースに二枚のCDを収納できるものを提供する。

また、この実施例でも前記第1実施例と同じように、面板部にCDを支持する支持部326が設けられている。

【0027】

(第3実施例)

図8に示すのは、本考案の第3実施例のCDケースの斜視図であり、図9は、本考案の第3実施例のCDケースの開けた状態の断面図であり、図10は、本考案の第3実施例の閉合状態の断面図である。

図中、第1部材10と第2部材20と第3部材の構成は一応前記第2実施例と同じであるので、その異なる部分だけ説明する。この実施例では、前記第2部材20における長方形突出部22の長槽23に、三つの係入手段(対向する突片)26が形成されている。中央部にCD保持手段52を有すると共に、下縁部に前記第2部材20の長槽23における係入手段26を受入れるための受入れ手段(凹槽)46が形成されている第4部材40が、その受入れ手段46を前記第2部材20の長槽23に入れて、前記係入手段26を受け入れることにより、該第4部材40を前記第2部材20に結合することができる。前記第4部材40の両面にそれぞれ一つのCD保持手段42、42があると共に、前記第1、第3部材10、30にもそれぞれ一つのCD保持手段があるので、二枚のCDをそれぞれ二つの部材の間に挟持し、或いは、それぞれの保持手段に一枚のCDを保持して共に4枚のCDを保持することは、いずれもCDの保持性を向上できると共に、収

納するCDの数も増えるので好ましい。

【0028】

【考案の効果】

本考案は、一体成形によりCDケースを生産するので、加工の手数には、組立の手数を要しないため、且つ一つの成形型しか要しないので、生産コストを大幅に低減できると共に、上記第2実施例や第3実施例の構成により、複数枚のCDを収納できるので、CDケースの利用性を大幅に向上できるので、好ましい。